番号	種別 (ジャンル)	特徴課題	概要 (キーワード)	概要の詳細	出典	その他特記事項
1	産業	特徴	城下町は産業地として 栄えた	1537年に木下城が犬山城の位置に移築。城下町が整備された。木曽川を隔て中山道に接する立地から、問屋・会所が増え、商人、職人をはじめ多くの人が集い栄えた		
2	産業	特徴	戦後の城下町も商業地 として栄える	1950-1960年代。県内近隣地域、岐阜など県外からも多くの人が集まる商業地として栄えた。	犬山市史	
3	産業・文化	特徴	料亭文化があった	料亭が軒を連ね、繁盛した。	犬山市史	
4	産業	特徴	車社会に対応できず衰 退	1960年代後半からモータリゼーションの発達、近隣市町の発展により勢いを失う。	犬山市史	
5	景観	特徴	90年代、景観に配慮したまちづくりが始まる	1993年の都市景観条例制定により犬山の景観を保全するため、城下町を中心としてかつての道路幅員や町割りを残し、歴史的建造物の復元、修景、道路美装化、電線類地中化等景観に配慮したまちづくりが進む。	市調査	
6	文化財	特徴	歴史的価値の高い資源	国宝犬山城、ユネスコ無形文化遺産犬山祭、国宝茶室如庵、古代(東之宮古墳、青塚古墳)、から近代(博物館明治村の建造物)まで、多くの歴史的資源を有する。	市調査	
7	文化財	特徴	特色のある寺社仏閣が 豊富	成田山、瑞泉寺、大縣神社、針綱神社、桃太郎神社、寂光院など、特色のある 寺社仏閣が立地	市調査	
8	伝統文化	特徴	「焼き物」という産業 がある	犬山焼は300年の伝統を持ち、「雲錦手」の模様が特色。幾度となく廃窯になるが再建再興の動きにより伝統工芸品になり現在に至る。焼き物が故郷に伝統産業として残っている。	犬山市史、市 調査ほか	
9	伝統文化	特徴	からくり文化	17世紀後半に始まった犬山祭がユネスコ無形文化遺産に登録、車山に載せられているからくりの伝統技術も現代に継承されている	市調査	
10	伝統文化	特徴	俳句・茶道・華道の広 まり	城下町の歴史とともに俳句、茶道、華道の文化が広まり、現代にいたる	市調査	資料
11	伝統文化	特徴	天下の奇祭石上祭	尾張富士大宮浅間神社で開催。市指定無形民俗文化財である石上祭は江戸時代 後期より続いていると伝わっている。	市調査	4

番号	種別 (ジャンル)	特徴課題	概要 (キーワード)	概要の詳細	出典	その他特記事項
12	伝統文化	特徴	木曽川うかい	犬山の鵜飼は17世紀にはじまり、伝統漁法として今に伝わる。昭和39年から は市営鵜飼となる。	犬山市史	
13	農業	特徴	愛知県での養鶏業の始 まりの地	1800年代にこの地域で養鶏業が始まった。	犬山市史	
14	農業	特徴	みかん栽培が盛ん	戸時代に楽田地区(二の宮)でみかん栽培が始まる。 犬		
15	観光	特徴	かつては松茸の名所	栗栖地域では松茸が良く取れた。1950年代は松茸狩りと河畔で松茸を七輪で焼いて食べるツアーを栗栖区で開催。名古屋などの都会から誘客していた	犬山市史及び 伝聞(栗栖区 住民より聞き 取り)	
16	観光	特徴	名古屋城と中山道を結	尾張藩が参勤交代の際、中山道に出るために作られたルート。名古屋城の東大手門から中山道伏見宿まで続くルートで、市内のルートは基本残っている。 市内を縦断しており、どうしても北寄りになりがちな観光の視点を南側とつなぐ道として使えないか。	善師野にある 立て札、個人 HP	別紙①参照
17	観光	特徴	信長が通ったルート	武田勝頼攻めの際犬山城で泊まり、善師野宿を通り土田宿へ入った。このルートは一部ゴルフ場となってしまったが、概ね現存している。(東山道) 中山道の当初ルート	犬山市史、定 本美濃十六宿	別紙①参照
18	観光	特徴	稲木街道	名古屋城と犬山城下を結ぶルート。 名古屋城東大手から楽田追分までは同じルート。	犬山市史 犬山たび	別紙①参照
19	観光	特徴	景観の良さ(日本ライン)	大正初期に地理学者志賀重昴が命名。	犬山市史	
20	観光	特徴	日本新八景	1927年に大阪毎日新聞社、東京日日新聞社主催、鉄道省後援で選定される	市調査	

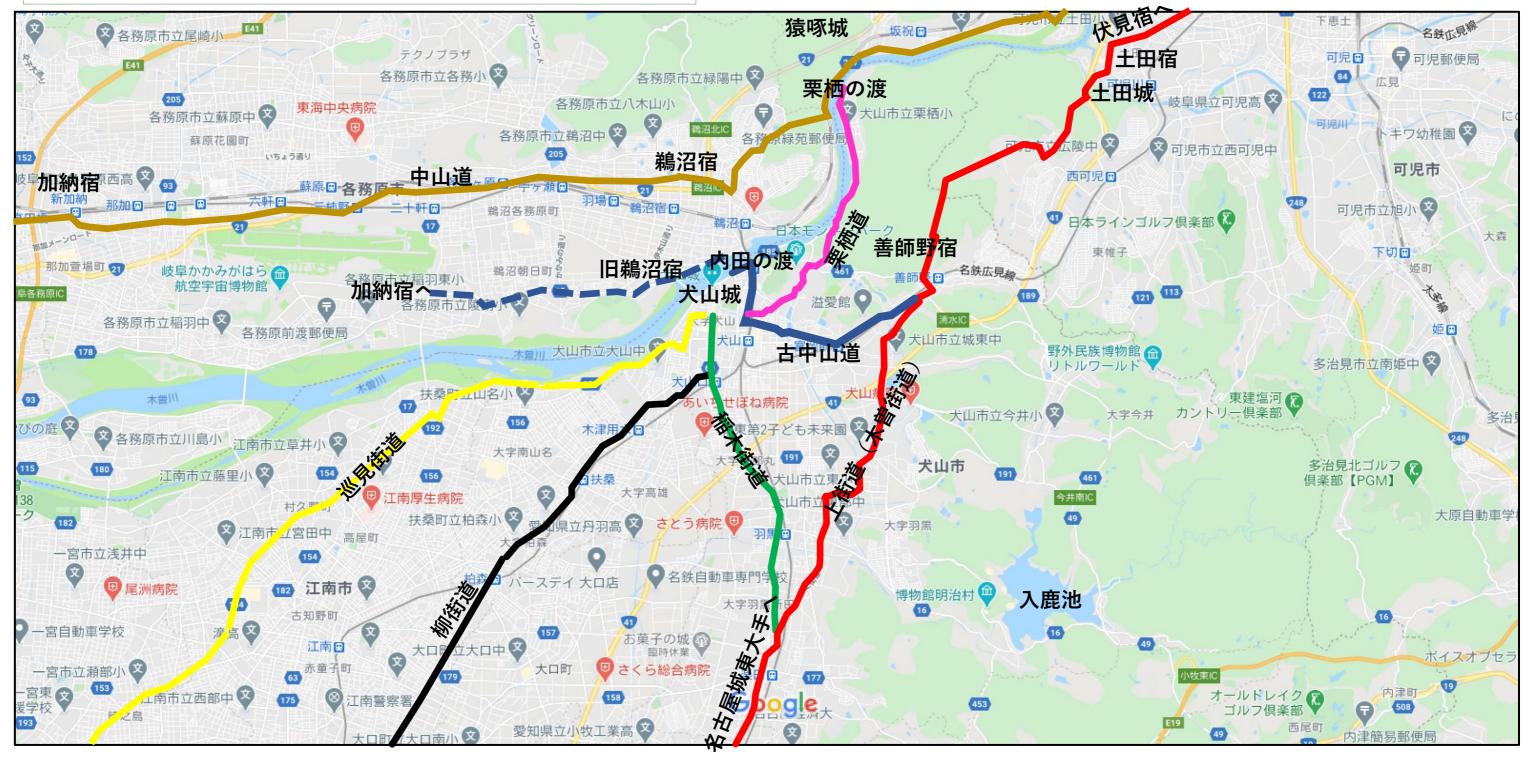
番号	種別 (ジャンル)	特徴課題	概要 (キーワード)	概要の詳細	出典	その他特記事項
21	観光	特徴	吉田初三郎	大正12 (1923) 年から10年余り、継鹿尾山麓に蘇江画室を構え、「初三郎式 鳥瞰図」と呼ばれる観光案内図を作成していた。日本ラインや犬山市域を描い た作品が多数残っており、木曽川の日本新八景入選や桃太郎神社の創建にも力 を注いだ。	史料館企画展 「吉田初三郎 とタイムス リップ」小冊 子	
22	景観	特徴	景観法の取組	1993年の都市景観条例の取組を引き継ぎ、県下初(政令市、中核市を除く)の景観行政団体として、平成19年に景観条例を制定し、平成20年に策定した「犬山市景観計画」に基づいて、これまで犬山城下町を中心とした地区において景観整備に取り組んできた。	景観計画	
23	景観	特徴	木曽川景観の取組	木曽川に関わる関係団体が木曽川景観を維持向上するため、平成17年に木曽川 景観協議会を設置し、平成18年に木曽川景観基本計画を策定し、平成21年には 全国初の県をまたいで連携する景観法に基づく景観協議会として位置付けられ た。		
24	景観	特徴	城下町における屋外広 告物の取組	観光客の増加と共に増えてきた店舗が設置する広告物がまちなみを乱し始めてきたことを受けて、2019年度に地域の人々と共に「犬山城下町屋外広告物ガイドライン」を策定した。	景観計画	
25	自然	特徴	東海自然歩道	新城市までつながる愛知県コースがある。	市調査	
26	自然	特徴	東大演習林	はげ山から森林を再生した東大演習林がある。	市調査	
27	自然	特徴	里山	里山が市域の2/3を占める	市調査	
28	景観	特徴	木曽川からの眺め	木曽川は古くから景勝地として親しまれ、日本新八景に選定されている、木曽川と犬山城の景色は、中国・長江にそびえる城になぞらえ、「白帝城」と称されている。	市調査	
29	景観	特徴	里山風景	東海自然歩道のある善師野、今井、八曽山、入鹿池や池野など美しい風景を有 し、市内の各所で里山風景を楽しむことができる	市調査	

番号	種別 (ジャンル)	特徴課題	概要 (キーワード)	概要の詳細	出典	その他特記事項
30	自然	特徴	八曽滝が名水百選に	池野地区の八曽滝は、2008年に環境省から「平成の名水百選」に選ばれている。	市調査	
31	名所	特徴	桜や梅の名所が各所に ある	梅(大縣神社)、桜(桃太郎公園)、ヒトツバタゴ(池野)、紅葉(寂光院)など、花の名所が各所にあり、広域集客が望める観光資源となっている。	市調査	
32	自然	特徴	東部丘陵	犬山市は名古屋都市圏にありながら、東部丘陵という豊かな自然を有している。また、東海自然歩道を始めとした散策路があり、軽登山やハイキングを楽しむことができる。	市調査	
33	名称	特徴	日本で唯一「犬」が付 く自治体	桃太郎伝説、猿学研究など動物と関係の深いまち。犬山という地名の言われに は諸説あり、この地方は犬を用いて狩りをするのによい場所であったからとい う説がある。	55周年記念 市勢要覧	
34	産業	特徴		お菓子のテーマパーク「お菓子の城」に設置されている世界一高いシュガーウエディングケーキ。20段あり高さは14.8メートル。	55周年記念 市勢要覧	
35	観光	特徴	複数のテーマパークが ある	世界で初めての野外民族博物館リトルワールド、明治期の貴重な建築物などを多数移設展示している博物館明治村、子供向け催事が人気の「日本モンキーパーク」など、名古屋鉄道系のテーマパークが複数あり、多くの人が訪れている。	55周年記念 市勢要覧ほか	
36	偉人	特徴	日本初の薬学博士は犬 山出身	ドイツ留学、帝大教授などを経て明治32年に薬学博士第一号となった下山順一郎は犬山出身。日本薬剤師会初代会長、私立薬学校(現東京薬科大学)初代校長などを歴任。	55周年記念 市勢要覧	
37	観光	特徴	SNSで話題。若者の 発信・拡散多数	Instagramでの投稿数多数。多くは若者による食べ歩き等の発信。Ex.#犬山(30.6万件)、#犬山城下町(18.9万件)、#犬山市(10.9万件)、#犬山カフェ(2.2万件)、#犬山城下町食べ歩き(1.7万件)(R2.12現在)	市調査	

番号	種別 (ジャンル)	特徴課題	概要 (キーワード)	概要の詳細	出典	その他特記事項
38	観光		観尤各か増加。良へ歩 きのまちとし <i>て</i> 有名に		市調査	
39	観光	特徴	市内小中学校の校歌	校歌の歌詞となっている、地域の特徴を示す言葉かららしさを見る。	市調査	別紙②参照

別添資料① 犬山周辺の主要な旧街道マップ

出典)犬山市史、犬山たび(街道編)、定本中山道美濃十六宿



上街道(木曽街道) 名古屋城(東大手)と中山道伏見宿を結ぶルート。犬山の楽田追分までは、稲置街道と重複しており、太田の渡し付近で中山道と合流する。約40km

稲置街道(犬山街道) 名古屋城(東大手)と犬山城下を結ぶ脇往還。犬山の楽田追分まで上街道(木曽街道)と重複している。

栗栖道 犬山から栗栖村へ通じる道。木曽川を渡って美濃国取組村へ行き着く道。主に地元民が利用。

寛永18年頃までの中山道。以降は岐阜県川のルートに変わるが、太田の渡しの迂回ルートとして使われた。

巡見街道。幕府が派遣した特使が査察の際に通った街道。

柳街道。名古屋から岩倉、江南、大口扶桑を経て犬山出来町で合流する街道。

別紙(1)

別添資料② 市内の小中学校校歌の歌詞に見ることができる地域性(犬山市観光戦略策定のための参考資料)

	小学校	設立年	制定年	1	2	3	4	5	6
1	犬山北	明治6年	昭和初期	お城	松	木曽の流れ			
2	犬山南	明治40年	昭和6年	尾張野	御嶽	平原	白帝	木曽の流れ	
3	犬山西	昭和57年	昭和58年	木曽の流れ	白帝城	伊吹颪			
4	東	昭和54年	昭和54年	尾張野	木曽の流れ	御嶽山	お城	歴史の町の犬山	
5	城東	明治6年	昭和47年	広い平野	愛岐	木曽川	城	飛騨	山脈
6	羽黒	明治6年	昭和10年	尾張野	小弓の庄	尾張冨士	林の松	伊吹颪	
7	楽田	明治5年	昭和48年	野はひろく	本宮山	城山(楽田城)			
8	今井	明治8年	昭和53年	山	四季折々の眺め	成沢山	水の流れ		
9	栗栖	明治12年	昭和28年	若鮎	木曽川	山	愛知と岐阜の境		
10	池野	明治12年	昭和40年	尾張冨士	松風	入鹿池			
	中学校	設立年	制定年	1	2	3	4	5	6
1	犬山	昭和22年	昭和24年	日本ライン	古城	尾張のよく野	緑の松		
2	城東	昭和22年	昭和41年	大木曽	尾張野	白帝の天守			
3	東部	昭和59年	昭和61年	尾張野	木曽	城			
4	南部	昭和35年	昭和40年	緑の山	尾張国原				

民謡、犬山市の歌の歌詞に見ることができる地域性(参考)

1	犬山市の歌	昭和59年	木曽川	城				
2	犬山音頭	昭和4年	桜	鵜舟	早瀬	日本ライン	秋の月	木曽川
2	四季の犬山(長唄)	昭和2年以前	城	木曽川	祭	からくり	山車	屋形船
	3四学の人田(長唄)	四和2千以削	七ツ岩	鵜舟	もみぢ	八州閣	御嶽	

※関連性が高そうなものを同色で分類してあります。

— 分析—

「濃尾平野」を示すものが多く(10)、次いで「木曽川」(9)、「犬山城」(8)、「山」、と「松」が(4)と続きます。羽黒小、池野小では地域の象徴ともいえる「尾張富士」が歌われています。地理的な背景からか、西小、羽黒小では「伊吹颪」という言葉があり、城東小、栗栖小には、愛岐、愛知と岐阜の境という歌詞が登場しています。「木曽川」、「犬山城」は、現在でも犬山の情景として連想しやすいですが、「濃尾平野」を示す言葉が多くの校歌に入っていること、現在、春秋の犬山の観光イメージの主軸になっている「桜」「紅葉」ではなく「松」が比較的多く出てくることについて、背景に地域性のあるストーリーがあるのか、学校や教育と松関係性が深く歌詞として取り入れられているのかなど興味があるところです。また、現在と校歌の作られた当時の風景が違うのではないかということが考えられます。ちなみに「桜」については、昭和4年の犬山音頭に出てくるが、それ以降に作られた校歌に出てこない事を踏まえると、「桜」は外向きな観光的な要素が強く、地域の人たちが、感じている犬山らしさではないのではないかと考えられます。